

認知症 マメ知識

認知症にも種類がある

問い合わせ
地域福祉課 ☎552-5346

認知症で最も知られているのは「アルツハイマー型認知症」ですが、それ以外にもたくさんの病名があります。その中には、もの忘れが目立たず、しっかりしている時とボーっとして時間や場所・人などが認識できなくなる時がある「レビー小体型認知症」があります。お店で支払せずに持って帰ってきてしまう、毎日同じ時間に同じ行動を繰り返してしまう「前頭側頭型認知症」や脳梗塞や脳出血の後物忘れや感情の起伏が激しくなる「脳血管性認知症」などがあります。脳の障害が起こる部位が異なるので、症状にも違いが出ます。きちんと診断を受けて、それぞれの原因に合った治療や介護をしましょう。
(9月末までの認知症サポーター数8,496人)

介護セミナー&認知症介護者交流会 ゆうゆう

家族のもの忘れが心配な方、自分で気になる方も気軽にご参加ください。

55歳で「認知症」と診断された妻といつも手を取り、笑顔で暮らす夫婦のつむぐ6年間の物語を聞いてみませんか。あなたの介護人生に少しの勇気と安らぎを届けてくれるでしょう。

申し込み 地域福祉課 ☎552-5346



とき 11月21日(月) 13:30 ~ 15:30
ところ 篠山市民センター

①対談「本人・介護者からのメッセージ」
～二人三脚で歩く道で～
三田市の男性介護者の会「ぼちぼち野郎」
竹中孝夫・小夜子夫妻
丹波認知症疾患医療センター長 福井辰彦医師

②交流会
対談を聞いた後には参加者全員で、認知症や介護についての情報交換もあります

11月の健康カレンダー

休日診療

問い合わせ 篠山市休日診療所 ☎552-8910 篠山市医師会 ☎552-8225

とき	担当医師	受付時間	ところ
3日(木)	すぎもとボーンクリニック医師	【午前】 10:00~12:00 【午後】 13:00~16:30	休日診療所 (篠山市民センター内)
6日(日)	今田診療所医師		
13日(日)	山鳥病院医師		
20日(日)	中野医院医師		
23日(水)	河合医院医師		
27日(日)	兵庫医大ささやま医療センター医師		

※都合により医師に変更が生じる場合があります。
※受診前に一度診療所にお電話ください。

小児救急医療電話相談窓口 ☎0795-72-4396
対応時間 平日=17:30 ~ 翌8:00 土・日・祝日=24時間



検診

問い合わせ 健康課 ☎594-1117 / 篠山市医師会 ☎552-8225

検診名	料金	対象者	指定医療機関
乳がん(視触診)	700円	20歳以上の女性 (11月生まれ) 女性が望ましい)	河合医院・平野外科医院・岡本病院・西井クリニック
乳がん(視触診+マンモグラフィ)	2,300円		兵庫医科大学ささやま医療センター
子宮がん(頸部)	1,200円		兵庫医科大学ささやま医療センター・細見クリニック・タマル産婦人科

※検診日に市内に住民登録がある方が対象です。いずれもご予約の上、健康保険証を持参し受診してください。
※市で行っている検診は、毎年4月～翌年3月の間で1回の受診となります。受け忘れや重複受診を防ぐために誕生日検診をお勧めしています。間違えて2度受診すると、2度目は全額自己負担となりますのでご注意ください。



がん検診
めざせ受診率 50%超

「元気のヒケツ」は

- 集めて!
- 動いて!
- 楽しんで!

保健・福祉の総合情報発信

ささやま ホットステーション

10月からB型肝炎予防接種が始まりました

予防接種法の改正により、B型肝炎の予防接種が定期化されました。対象者には、10月初旬に通知を送付していますので、ご確認のうえ、市内医療機関に予約いただき、早めに接種をしましょう。

対象者の方で、すでに接種を済ませられた方は接種費用の一部をお返しします。

問い合わせ 健康課 ☎594-1117

対象者と接種回数

平成28年4月1日以降に生まれた0歳児が対象です。1歳になる前に3回の接種を終える必要があります。生後2カ月頃から接種を開始し、3回目を終えるまでには、およそ半年間かかります。



●B型肝炎とは

B型肝炎ウイルスの感染により起こる肝臓の病気です。感染すると、一過性で終わる場合と、そのまま感染している状態が続いてしまう場合(キャリアといいますが)があります。キャリアになると慢性肝炎になることがあり、そのうち一部の人では肝硬変や肝がんなど命に関わる病気を引き起こす場合もあります。

●予防接種をすると

体の中にB型肝炎ウイルスへの抵抗力(免疫)ができます。免疫ができることで、一過性の肝炎を予防できるだけでなく、キャリアになることを予防でき、まわりの人への感染も防ぐことができます。

麻しん(はしか)に注意しましょう!

麻しんは感染力の強い疾患です。麻しんにかかったことがなく予防接種を受けていない方や予防接種が1回接種であった方(26～44歳)は十分な免疫を獲得していない可能性があるため、特に注意してください。

問い合わせ 丹波健康福祉事務所健康管理課 ☎0795-73-3764 / 健康課 ☎594-1117

○麻しんとは?

空気・飛沫(せき・くしゃみ)・接触感染とさまざまな経路で起る病気で、感染力は極めて強いとされています。麻しんに感染した場合は、10～12日の潜伏期を経て、発熱で発症し、重症な場合は肺炎や脳炎を起こすことがあります。

○どんな症状ですか?

カタル期(3～5日間)は38℃前後の発熱、せき、鼻水、結膜充血がみられます。その後、発疹期(4～5日間)に再び高熱となり、赤い小さな発疹が耳の後ろから顔面に出はじめて、次第に手足などに広がり

ます。

○麻しんにかからないためには?

予防には、麻しんのワクチンを接種することが最大の方法です。すでに麻しんにかかったことがある人は、再びかかることはありません。

ワクチン接種の有無は母子手帳などで確認してください。未接種の方は予防接種を受けることをお勧めします。接種の際は、医師にご相談ください。

<定期予防接種の年齢>

- 第1期 1歳の間
- 第2期 小学校就学前の1年



○麻しんにかかってしまったら?

早めに医療機関に相談、受診してください。麻しん患者と直接接していた場合は、受診の前に必ずそのことを医療機関へ電話などで伝えてください。

また、人へうつさないように外出は控えましょう。